

B 豊かな人間性や社会性の育成

令和6年度滝沢市「滝沢魅力学」の推進



1 滝沢魅力学のねらい

滝沢を知り、よいところを見つけ、さらに、滝沢の魅力を見直し、子供たちの学びを深め、滝沢への郷土愛を育成することを目指す。

2 滝沢魅力学推進計画

令和6年度

学校教育振興協議会との連携強化、キャリア教育・復興教育との関連推進
令和6年度は、学校教育振興協議会との連携を強化し、地域人材を活用しながら、児童生徒の主体的な取組を実施する中で、キャリア教育・復興教育との関連を図る。

○ 教育振興協議会との連携推進

- ・ 地域人材と協力し、地域の「魅力」発掘

○ 小中の系統性の整理

- ・ 内容の系統性や表現技能の系統性を整理

教育委員会の取組

- 各校の取組を情報提供
 - ・ 冊子の作成
 - ・ HP、市広報を活用
 → 積極的に地域に周知することで、児童生徒の自己肯定感・所属感の向上を図る
- 総合的な学習の時間推進事業
 - ・ 体験学習等の講師の招聘
- 復興教育支援事業
 - ・ 被災地訪問のバス利用や講師招聘
- 社会科副読本・滝沢市のあゆみの活用促進

学校教育振興協議会の役割

- 自治会
 - ・ スクールガードやセーフティ・ネットによる見守り活動
 - ・ 地域行事、社会参加活動の支援
 - ・ 地区奉仕活動の支援
- PTA
 - ・ 学習支援、図書ボランティア
- 子供会
 - ・ 子供会活動支援（資源回収、環境整備 等）
- 地域団体・企業等
 - ・ キャリア教育支援
 - ・ 郷土芸能支援
 - ・ 農業体験支援・異年齢交流、三世交代、障がい者交流等の交流活動支援

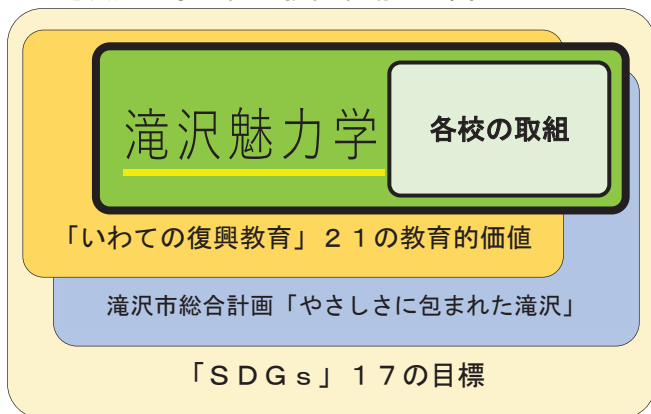
令和5年度

学校教育振興協議会との連携

各校の取組（抜粋）

篠木小学校	越前堰調査、米作り体験	姥屋敷小中学校	そば打ち体験、サツマイモの栽培
滝沢小学校	滝沢リンゴ学習、伝統さんさの継承	柳沢小中学校	そば作り体験、豆腐作り体験
滝沢第二小学校	滝沢山車祭の学習、滝沢さんさの学習	滝沢南中学校	農業講話・体験
鶺鴒小学校	滝沢リンゴ学習、米作り体験	滝沢第二中学校	農業体験、地域の自然保護活動
一本木小学校	滝沢リンゴ学習、そば作り体験	一本木中学校	一本木さんさの継承、農業体験
滝沢東小学校	川前神楽の学習、光太鼓の継承	滝沢中学校	土木作業体験、さんさ踊り
滝沢中央小学校	岩手山学習、滝沢さんさの継承		

3 滝沢魅力学と他の教育活動との関連



「滝沢魅力学」とは、「郷土を愛する心を育む」ことを目指すものである。岩手県においては、「いわての復興教育」として郷土学習に取り組んでおり、広義としては「SDGs」（世界で取り組むべき17の目標）にも通ずる。さらには、第2次滝沢市総合計画のテーマである「やさしさに包まれた滝沢」とも重なるものである。（左図参照）

このように、「滝沢魅力学」として、これまでの各校独自の郷土学習の取組を推進することで、「いわての復興教育」「SDGs」に取り組むこととなり、郷土に対する誇りや愛着をもつとともに、郷土に対して主体的にかかわろうとする心や態度を育むことを目指すものである。

【図】他の教育活動等との関連 重なりイメージ